

・・・ 新刊本紹介 ・・・

本の名前	書いた人	出版社
エア新書	石黒謙吾	学研
世界は感情で動く	マッテオ モッテルリーニ	紀伊国屋書店
無宗教こそ日本人の宗教である	島田裕巳	角川書店
幕末下級武士のリストラ戦記	安藤優一郎	文藝春秋
九州ベストプラン '09 - '10		昭文社
日本列島プチ改造論	パオロ マツァリーノ	大和書房
シャーロック・ホームズの科学捜査を読む	E. J. ワグナー	河出書房新社
橋下「大阪改革」の正体	一ノ宮美成	講談社
外交の力	田中均	日本経済新聞出版社
仕事がデキると言われている人が必ずおさえている交渉・商談の鉄則	和知鋭二郎	知不足斎出版
円高円安でわかる世界のお金の原則	岩元沙弓	翔泳社
男には七人の敵がいる	河北義則	PHP研究所
あたりまえだけどなかなかできない聞き方のルール	松橋良紀	明日香出版社
あなたの天職がわかる最強の自己分析	梅田幸子	中経出版
はじめに読むアスペルガー症候群の本	榊原洋一	ナツメ社
思い出かたり	鈴木正典	かもがわ出版
認知症を生きるということ	中村尚樹	草思社
丸ごとわかる薬の常識Q & A	桧山幸孝	小学館
日本は原子爆弾をつくれるのか	山田克哉	PHP研究所
はじめての服作りレッスンノート	百目鬼尚子	文化出版局
黒羽志寿子<キルト>術	黒羽志寿子	晶文社
創作三大つるし飾り	露木ミネ子	ローカス
一生太らないか体のつくり方 スロトレ実践編	石井直方	エクスナレッジ
新農民になろう!	伊藤裕樹	技術評論社
日本犬好きの取り扱い説明書	j a m a i n u	誠文堂新光社
パチンコ「30兆円の闇」	溝口敦	小学館
OLの私的消費		翔泳社
オトコの仮面消費	大沼利広	翔泳社
世界図案百科		青幻社
男道	清原和博	幻冬舎
俳句がどんどん湧いてくる100の発想法	ひらのこぼ	草思社
末期ガンなのにステーキを食べ、苦しまずに逝った父	黒岩祐治	講談社
グローバリズム出づる処の殺人者より	アラヴィンド アディガ	文藝春秋
ディビザデロ通り	マイケル オンダーチェ	新潮社
ベンジャミン・パトン	スコット フィッツジェラルド	イースト・プレス
赤い月、廃駅の上に	有栖川有栖	メディアファクトリー
待ってる	あさのあつこ	講談社
五月の独房にて	岩井志麻子	小学館
少年譜	伊集院静	文藝春秋
パパママスメの10日間	五十嵐貴久	朝日新聞出版
ディスクスの飼いや	大崎善生	幻冬舎
WE LOVEジジイ	桂望実	文藝春秋
煙霞	黒川博行	文藝春秋
千世と与一郎の関ヶ原	佐藤雅美	講談社
大きな約束	椎名誠	集英社
女優仕掛人	新堂冬樹	角川書店
反乱する管理職	高杉良	講談社
ポトスライムの舟	津村記久子	講談社
ねたあとに	長島有	朝日新聞出版
骨の記憶	楡周平	文藝春秋



読まんかね

March. 2009 Vol. 46

隠岐の島町図書館

〒685-0014
島根県隠岐郡隠岐の島町西町吉田の二・17-1
tel : 08512-2-2341 fax : 08512-2-9198
e-mail : s-tosho@mx.miracle.ne.jp



隠岐グリークラブ ミニコンサート

3月13日(金) 18:30~19:15
図書館雑誌コーナー



赤とんぼ・植生の宿・ソーラン節・タヤけこやけなどの
曲目を披露していただきます。
男声合唱の調べを堪能しましょう。
入場無料でどなたでも参加いただけます。



・・・蔵書点検結果報告・・・

行方不明の資料の総数 ・・・ 71点

うち	一般図書	・・・	20冊
	児童図書	・・・	18冊
	郷土資料	・・・	3冊
	マンガ	・・・	20冊
	雑誌	・・・	5冊
	C D	・・・	3点
	V	・・・	2点

今年は行方不明の資料が昨年の137点に比べ大幅に減りました。昨年に引き続きマンガが不明になる傾向が続いています。
万が一、貸し出し手続きを忘れて、持って帰った資料がありましたら、早急に図書館までお返しく下さい。(外に返却ポストもあります)

・・・語りの集い・・・

隠岐民話の会のメンバーによる語りの集いが2月28日に行われました。
『センチの神様』や『願満寺の本尊さん』の話など6話を語りました。
参加された皆さん、お話に惹き込まれていました。



・・・ありがとうございます・・・

隠岐第一商事様より年間購読雑誌『いきいき』を寄付していただきました。ありがとうございます。
『いきいき』は50代からの生き方、暮らし方をテーマにした雑誌です。家族のこと、病気のこと、ファッションに興味・・・と幅広い内容です。ぜひご利用ください。(最新号は貸し出しとコピーはできません)



・・・3月の休館日・・・
2(月) 9(月) 15(日) 16(日)
20(金) 23(月) 30(月)

・・・この他にも、おもしろそうな本がたくさん入ってきていますので、チェックしてみてください!!

・・・『うちどく』のススメ・・・

読書を通してコミュニケーション 「うちどく」を家族の新しい習慣に！

講演会が開催されました

隠岐の島町子ども読書応援団事業の一環として五箇生涯学習センターで講演会を行いました。
講師に朝の読書推進協議会顧問の佐川二亮氏をお迎えして、「家読（うちどく）で読みニケーション～読書で家族の絆を深める」と題して、家読（うちどく）の実践法を具体例を交えてお話いただきました。



満員の会場で熱く語る佐川先生



参加された方に感想をお伺いしました

子どもをよりよく成長させるには、まず周りの大人が見本を見せることだという教育の基本を振り返るきっかけになりました。子どもを巻き込んでまず大人が実践！
子どもが時々学校から本を借りて帰ってくるがあるので、私たちも読んでみようかなと思います。
今後、インターネットばかりせず「家読」に励みたいと思います。
読書は子どもたちの心を豊かにしていくだけでなく、親の心も安定させるという言葉が印象に残りました。
家で本を読むことが全くなかったので、今日を良い機会に「家読」をやってみたいと思います。

どうすればいいの？！

「うちどく」に難しいルールは必要ありません。それぞれのご家庭にあったルールを、家族みんなで決めて始めてみましょう。
同じ本をみんなで読めば会話もいっそう弾みます。お互いに本をすすめてあったり、家族みんなで図書館や本屋さんで本を選ぶなど、いろいろな意見を出し合ひましょう。
また、家族みんなで読書ノートをつけることをおすすめします。家族そろって読書の時間が持たないときにも、読書体験を共有することができます。

↓ どう始めていいかわからない！！ そんな方には、こちら・・・ ↓

子どもたちが考えた

「うちどく」の約束

- 1 家族で同じ本を読もう！
- 2 読んだ本で話そう！
- 3 感想ノートをつくらう！
- 4 自分のペースで読もう！
- 5 家庭文庫をつくらう！

「うちどく」ってなに？！

学校では、授業が始まる前の時間帯に好きな本を読む「朝の読書」が定着しています。
読書が習慣化し、読書の楽しさを知っている子どもたちをお手本にして、この良い習慣を家族みんなでやりましょう！というのが「うちどく（家読）」です。
家族みんなで読書の時間を共有し、好きな本を読んで、読んだ本について語り合う。これが「うちどく」の基本です。

どんな本を読めばいいの？！

「うちどく」を始めるのはいいけれど、世代の違う家族が同じ本を読むのは難しい、どんな本を選んだらいいのかわからないという方のために、トーハンから小学校低学年から一般までを対象とした「うちどくブックガイド」が出ていますので参考にしてください。「うちどく」のホームページからダウンロードできます。
また、家族で読んだ本の題名や感想コメント、おすすめ度などが書き込める「うちどくノート」もダウンロードできます。（図書館にも置いてあります。）



↑『うちどくノート』と『ブックガイド』↑
図書館にも置いてありますのでご利用ください



家族そろって本を読もう！

・・・展示コーナー & 特集コーナー・・・

展示コーナー

町のアーティスト展 第2弾！

富永家ふたり展～切り絵の風景とさおり織

中村にお住まいの富永利治さんの切り絵の作品と、奥様静子さんの遺作の切り絵とさおり織りなどを多数展示しています。
利治さんの作品は雑誌コーナーなどにも展示していますので、こちらもお見逃しなく！！

展示期間は3月29日（日）までです

特集コーナー

すてきな動物たち

ペットの定番の犬や猫はもちろん、普段ふれあう機会のない動物やちょっと変わった動物など、いろいろな本を紹介しています。
動物たちの姿に癒されませんか・・・

えほんコーナー

はるがきた

寒い冬もようやく終わりを告げ、暖かい春がやってきます。
春を感じられる絵本を紹介しています。

・・・2月の利用状況報告・・・

	入館者数	貸出人数	貸出冊数	登録者数
20年度	4,051	1,439	7,290	30
19年度	5,161	1,725	7,890	32
比較	1,110	286	600	2

*叢書点検による休館のため、数値が全体的に減っています（去年は1月、今年は2月に実施したため）

・・・2月によく読まれた本ベスト10・・・

1位	ベンジャミン・バトン	スコット・フィッツジェラルド	イースト・プレス
2位	絵で見る論語	安岡定子	日本能率マネジメントセンター
3位	神を描いた男・田中一村	小林照幸	中央公論新社
4位	恥をかかない × 会話術	植西聡	東京書籍
5位	女が嫌いな女	週刊文春編集部	文藝春秋
6位	容疑者 の 献身	東野圭吾	文藝春秋
7位	パラレル	京谷和幸	祥伝社
8位	棟居刑事の使命の条件	森村誠一	双葉社
9位	病んでも老いても人生は華	吉武輝子	海竜社
10位	葵の呪縛	八幡和郎	同朋舎

・・・図書館職員オススメの一冊・・・

『奇跡のリンゴ』『絶対不可能』を履した農家木村秋則の記録 石川拓治 著 / 幻冬舎



今月は小室が紹介します

NHKのプロフェッショナル仕事の流儀で紹介され大反響をよんだ、無農薬、無肥料でのリンゴ栽培を取り組んだ木村秋則さんの人生を取材した一冊です。
現在、私達が食べる大きな甘いリンゴは病害虫に弱い、農薬を使用しないと栽培ができないと言われていた。木村さんは「自然農法論」の本を読み、リンゴでもできないかと思いつく、それが苦悩と挫折の始まりであった。7年間は葉も花も咲かない害虫、病気との闘い、収入のない生活、子どもの学費にも事欠き夜は繁華街で働く。
追い詰められ死を決意して登った山の中でリンゴの木の幻を見る。そして気付く、山の木は誰も農薬を撒かないのに青々とした葉を繁らせている。木の下のかかした土にあることに気づいた。木村さんのリンゴは本来の味がする。ぜひ、一度食べてみたい。ぜひ、一度読んでみてください。感動致します。